

保育おおさか

No. 459

平成 25 年 11 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/

すべての人が子どもと子育てに 関わりをもつ社会の実現をめざして

第57回全国保育研究大会が10月9日～11日、名古屋国際会議場で行われ、16000人を超える保育関係者が参加しました。行政報告、基調報告、記念講演のほか11の分科会が開催されました。(関連記事2面)

行政報告

「保育の必要性の認定」 についての議論を整理

橋本泰宏氏(厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長)から、子ども・子育て会議における次の検討状況について報告。

①新幼保連携型認定こども園における園長資格・職員配置基準・運動場等の設置面積・食事の提供・調理室の設置などの「認可基準」、②新たに設立される地域型保育事業の認可基準や設置基準など「小規模保育」、③「公定価格」、④「保育の必要性の認定」。

「保育の必要性の認定」についてこれまでの議論を整理。新制度における保育の必要性の事由として、フル



橋本泰宏氏

タイムのほかパートタイムや夜間など基本的なすべての就労に対応。また、起業準備を含む求職活動や職業訓練校などにおける職業訓練を含む就学、虐待やDVのおそれがあることなどの案が示されています。育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であることも新たに含まれる予定であり、平成27年4月の施行に向け、できるだけ早く周知していくと締めくくられました。

基調報告

楽しく子育てでき、 発達と生育を 保障する社会を

「保育をめぐる動向と全国保育協議会の取り組み」と題して万田康氏(全国保育協議会会長)が基調報告。以下はその要旨。

少子化対策も含めた制度改革が社会保障全体に関わる問題であり経済にも多大な影響を与える。楽しく子育てのできる社会を作り、



万田康氏

すべての子どもたちの発達と生育を保障することが課題。そして、児童福祉施設としての役割もしっかりと確保していきたい。

子ども子育て支援新制度では、保育園として残る選択と認定子ども園に移行する選択があるが、各市町村との連携が重要であり、今後万全に進めていきたい。

三党合意としての制度であることをふまえて、事業安定への意見を今後も継続して述べていく。

全保協総務部会で認定こども園の位置づけをどうするのか協議していき、そこに「保育」が存在することは変わりのない事実であるので、組織が弱くならないように対応を続けていきたい。このことは本年3月から保育三団体で意見のすり合わせをして統一を図っている。

最後に、東日本大震災に関する継続的な支援の必要性と、子どもの生命の保持、保護者への安全な引渡しなど、子どもの安全を守る保育所運営がこれからも大切であると結ばれました。

(編集委員 M・K)
(2面へ続く)



「春眠暁を覚えず」は冬から春にかけて使うことわざで、これからの季節には不適切だと思うのですが、「もう少し寝てほしい」季節、私にはまさしく「秋眠暁を覚えず」です。

午後10時から午前2時の「上質な睡眠」とはほど遠い生活を繰り返していますが、スマートフォンを使ったアプリで「心地よい睡眠」と「快適な目覚め」を最適なタイミングでやさしく起こしてくれるという「快眠サイクル時計」を最近知り、活用し始めました。私をもっと気にしているのは、「どんな睡眠状態で寝ているか」です。このアプリはグラフで教えてくれます。それをみる限り、ほとんど毎日、いきなり眠りについて深い眠りがただ一直線に描かれていて、予定時刻に急に目覚めているのです。

本来の上質な眠りとされる、ノンレム睡眠とレム睡眠の繰り返しがありませんか？これは危険かも？それを考えるとまた、上質な眠りから遠のいていくようで恐いです。

(編集委員 Y・N)

記念講演

「子どもの可能性を信じる」

大会最終日、ピアニスト

辻井伸行氏の母、辻井いつ子氏の「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」をテーマにした記念講演がありました。以下はその要旨です。

子どもが全盲と分かり、自分には見える美しいものがこの子には見えない、と絶望を感じました。目が見えないことで普段の生活に支障があり、育児書や子育てマニュアルが全く役に立たず、子育てに不安を感じていました。

そんな時に『ブロックスはわたしの目』の著者・福沢美和氏に出会い、子育てについて相談できる機会がありました。福沢氏から「普通の子と同じように普通に育てればいい」とアドバイスをいただきました。

それからは、「子どもの好きなもの一つでも見つけてあげたい」「世の中にはこんなに楽しいことがあると知ってほしい」と思い、色々な場所に連れて行き、その



辻井いつ子氏

ようすを言葉で伝え、実際に触れるなどの経験を一緒にしました。母親と一緒にすることで、子どもは色々なものに関心を示し、好きになっていきました。

その中で特に関心を示したのが、ピアノでした。初めは、周りの人から全盲の子どもがピアノを弾くことに否定的な意見が多くありましたが、「子どもの可能性を親が信じなければ、誰が信じるのか」と子どもを見守り続けました。否定的な言葉は使わず、褒め続けると、よりピアノのことが好きになっていきました。そして、良い指導者とも巡りあい、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝することができました。一番可能性を秘めた時期に子どもと関わる保育士は、子どもの可能性や夢を認めて応援してほしいと結ばれました。



調査研究委員会

子ども子育て支援新制度について

東京研修開催

9月12日、衆議院第一議員会館で、子ども子育て支援新制度の研修会を行いました。冒頭に森田信司調査研究委員長から挨拶があり、次に保育部会顧問である浦野靖人衆議院議員から挨拶をいただきました。なお、今回の研修会は浦野議員に多大なご尽力をいただき開催できました。本研修でレクチャーしていただいた内容は次の通りです。

●加藤翔一氏（内閣府政策統括官（共生社会政策担当）） 子ども子育て支援新制度担当（主査）

これまでの子ども子育て会議・基準検討部会の開催状況や、議論の内容、進捗状況を説明され、これから市町村が主となって基本指針に基づき5カ年計画を立て、その地域のニーズ調査や保育の量の見込み、確保の手段等について有識者を交えながら定めていかなければならない、と強調。

●橋本圭司氏（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課企画調整係長） / 加藤泰士氏（幼保連携推進室認定子ども園運営係長）

まず待機児童解消加速化

幼稚園では小学校や中学校であるような「特色ある幼児教育の取り組み等」はほとんど実施されていない。また、幼稚園には、新制度施行後は幼保連携型・幼稚園型の認定子ども園へ移行するか、現行通り幼稚園として残る選択肢がある。

●質疑応答（一部抜粋）
Q 現在、幼稚園で障がい児を預かる際は、私学助成から補助金がでている。今後、新幼保連携型認定子ども園になる際に私学助成が残るが、障がい児を預かる際は私学助成と施設型給付の両方から補助がでるのか。

A 新たな制度では幼保連携型、幼稚園型認定子ども園では、障がい児を預かる際は私学助成から補助される。また、幼保連携型認定子ども園は教育を行う施設であり、保育所から移行してきた施設でも私学助成を受

取ることができる。保育所に関しては現行と同じで、障がい児の保育は市町村で責任を持つ。
Q 新幼保連携型認定子ども園に勤務する保育教諭について、5年の経過措置を過ぎても、保育士資格か幼稚園教諭免許のどちらかの資格しか持っていない場合は、どのように施設で勤務ができるのか。

A 国としては、併有できるように幼稚園教諭免許を取得しやすいうような制度設計をし、周知していく。保育士資格のみの者は非常勤と講師としては働くことができるが、補助的な役割なので職員配置基準で定められた人数には含まれない。乳児のクラス専門とした職員でも、新幼保連携型認定子ども園は教育と保育を兼ね備えた施設になるので、両方の資格が基準として求められる。

（調査研究委員会T・K）

温かみ感じるオレンジ色の園舎 木製家具が醸す家庭的雰囲気

乳児一人ひとりと丁寧に関わる 自発的に自由に遊ぶ幼児クラス

大阪市

姫島南保育園



家庭的雰囲気

園内はすべて木製で統一された家具と家庭的な雰囲気です。その中で、子どもたちはのびのびと過ごしています。屋上にも人工芝の運動スペースがあります。思いつき活動ができ、気候の良い時期は青空の下で、おいしくお弁当給食を食べ

「保護者と職員が子どもたち全員の名前や誕生日などを知っているアットホームな環境の中で、子どもたちの成長を見守りたい」と原正直園長は熱く語られました。

(事務局)

阪神姫島駅と福駅の中ほどにある社会福祉法人たから福祉会姫島南保育園は、定員60人、開園4年目です。駅から10分ほど歩くと、温かい雰囲気のあるオレンジ色の園舎が見えます。すぐ近くに南姫島公園があり、たくさんの遊具と大きなグラウンドがあります。毎日の散歩だけでなく、運動会にも利用されます。取材当日も、子どもたちの元気一杯な声が公園に響いていました。「子どもは宝—未来を担う子どもたちへの愛情と保



屋上で食べるピクニック給食♪

護者への信頼を大切に一人ひとりの子どもたちを大切に「見守り育てます」を保育理念に掲げ、家庭的な環境の中で保育をされています。

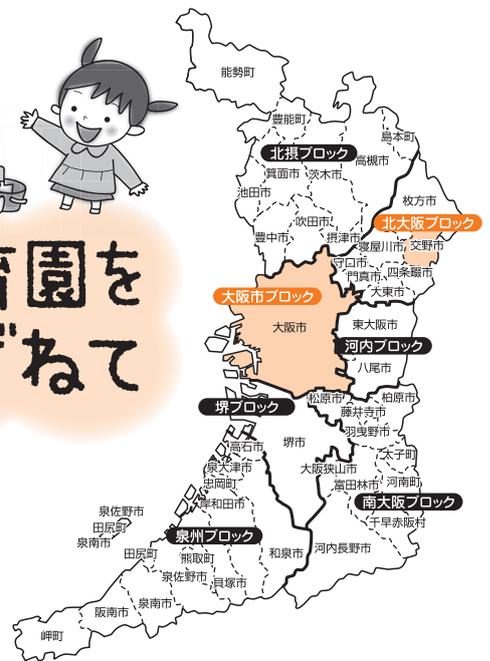
るそうです。

担当制を採用する乳児クラスでは、一人ひとりについてい関わります。3、4、5歳児の幼児クラスは、部屋の仕切りを少なくし、子どもたちが自由に自発的に遊べるように、すべてのおもちゃは子どもの手が届くところに置いてあります。「保護者と職員が子どもたち全員の名前や誕生日などを知っているアットホームな環境の中で、子どもたちの成長を見守りたい」と原正直園長は熱く語られました。



保育園をたずねて

481



市の北東部にある倉治保育園は昭和23年設立、定員120人の歴史のある保育園です。財団法人でしたが、昨年4月に社会福祉法人として新たにスタート。近くに交野山(生駒山系の北端)を仰ぎ、源氏の滝、機物神社(七夕伝説の織姫をまつる神社)、天野川、ぶどう園など、自然と文化に恵まれ、こうした環境の良さを活かした多くの行事があります。



ぶどう狩りでの一コマ。おいしそう



明るい太陽のもとで楽しく食事

あり、7月ぶどう狩り、10月お芋ほり、11月ミカン狩りなどがあり、全て徒歩で行くことができます。自然の实りから「食」への関心に結び付ける行事もあります。3〜5歳児がお弁当箱に主食を入れて登園し、園庭に並べられた惣菜を思い思いにお弁当箱へ詰めていく「ピュッフェ式給食」は、周辺に木々の多い園ならではの、遠足とは一味違ったランチタイムで、おしゃべりしながら楽しく食

事をしていきます。機物神社に隣接することから、七夕祭りや七五三参りなど、幼い頃から伝統文化に親しむ機会も多くあります。もう一つ羨ましいのは、源氏の滝での「サワガニ観察!」でした。

(編集委員J・H)



ピュッフェのメニューです

山、滝、神社、川、ぶどう園… 歴史と文化、恵まれた環境の中で

自然の实りから「食」への関心育む ピュッフェ式ランチタイム

交野市

倉治保育園

堺

市の北部、近くを大和川が流

れるみどり幼稚園は、昭和26年1月に認可保育園として開設され、63年目を迎えました。

「明るく元気ですなおな子」を保育目標に掲げ、元気で健康な身体をつくり、よく考えて積極的に取り組む人とのふれあい・生活・遊び体験から仲良く協力しあえる心豊かな人間性を育む環境づくりに取り組んでおられます。

毎日の健康乾布摩擦で深める一人ひとりとのコミュニケーション 音楽・体操・漢字絵本…感動体験 子ども自ら成長する力育む

堺市 みどり幼稚園

健康な体づくりのために取り入れている乾布摩擦は、保育士と子ども一人ひとりのより深いコミュニケーションに貢献しています。乾布摩擦をしながら、今日の子どもの体調や機嫌、前日の家庭での様子を表情からも把握することができます。

毎月1回、地域の老人会の方が来園され、伝承遊びや工作などを教えてくださいます。9月、園児の祖母、地域の敬老会の方と一緒に「敬老の日運動会」を開催。競技やダンスを楽しんでいます。世代間交流により、子どもの成長や地域

での安全などの成果も。音楽レッスン、体操教室、漢字絵本などを取り入れ、さまざまな感動体験を通して、子ども自らが「成長しようとする力」を発揮。友だちと遊ぶ中で楽しく心地よい生活が送れるように取り組まれています。

「これまで地域の方々に支えられて成長させていただきました。地域に根ざした保育園として今後も努力してまいります」との橋田由紀子園長のお話に感銘を受けました。

(編集委員 T・S)



おじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊ぶの大好き♪



保育園をたずねて

482



教 会付属の保育園としての長い歴史がある聖愛保育園。創立当時の河内長野は農林業に携わる人が多く、農繁期には人手不足で子どもの世話にまで手が回らないことから、教会婦人会の事業として無認可託児所「長野基督教教会託児所子供園」が開所。昭和30年認可、32年に聖愛保育園と名称を改めました。



椅子に座って先生の話をしっかり聞きます

キリスト教精神を基盤とした保育に取り組み、毎朝礼拝。きちんと椅子に座って先生や友だちの話を

き、農繁期には人手不足で子どもの世話にまで手が回らないことから、教会婦人会の事業として無認可託児所「長野基督教教会託児所子供園」が開所。昭和30年認可、32年に聖愛保育園と名称を改めました。

会付属の保育園としての長い歴史がある聖愛保育園。創立当時の河内長野は農林業に携わる人が多く、農繁期には人手不足で子どもの世話にまで手が回らないことから、教会婦人会の事業として無認可託児所「長野基督教教会託児所子供園」が開所。昭和30年認可、32年に聖愛保育園と名称を改めました。

「フリールーム」では、給食時にランクルームと友だちと一緒に楽しく食事

地域子育て支援として「こひつじひろば」を開催。お芋掘りやプール遊びなど、地域の親子が季節に応じたさまざまな行事を楽しみます。保護者への情報提供として、離乳食講習会や相談員(スマイルサポーター)による育児相談など、地域福祉に貢献しています。



十字架をモチーフにした園舎

奉仕の精神で取り組む保育で 就学前の大切な姿勢身につける

「フリールーム」で給食楽しむ
子育て支援の「こひつじひろば」

河内長野市 聖愛保育園

(編集委員 R・Y)



● 保育園における業務改善 ●

全職員の知恵借りつくる 「アレルギー児対応要領」

(福)日の出学園(大阪市)

毎月の園長・主任 会議で方針統一

大阪市内4カ所(3施設・1分園)で保育。各施設では定員・入所児童の年齢・施設規模が異なり、それぞれが特色ある保育を行っています。保育理念と方針は統一するよう心掛けています。

施設それぞれに小さな改善や合理化の結果として現れてくる園の特徴を、法人の理念と照らし合わせ、法人全体として取り入れるもの、再考すべきものを決定するのが難しい点です。運営方針を統一する機会

として、園長・主任会議を毎月実施。業務改善に関して、インターネットを通じて保育園間の情報共有、「食物アレルギー対応要領」の作成、「ヒヤリハット報告」の簡素化などに取り組んできました。

活用しやすく、 簡素なマニュアル

アレルギーの誤食のニュースを見るにつけ、当法人でも「誤食の可能性を最小限に留める方策はないか」を園長・主任会議で話し合いました。

園長や主任だけの判断でマニュアルを作成しても、

それぞれが保育士に求めるスキルの違いや各園の設備面の違いなどから運用しづらい部分が出るのでは？活用しにくいマニュアルでは作成しても活用されず、「存在するだけのマニュアル」になってしまおうのでは？という懸念を感じました。

職員全体に周知し徹底するためには、みんなができること、目を通しやすい量、保育士一人ひとりが培っているさまざまな配慮を妨げないなど、「要点」のみをまとめる必要性を感じ、誰にでもわかりやすく、できるだけ簡素な「アレルギー児対応要領」を作成することを目指しました。

アレルギー対応の多いクラスで、いつも配慮してい



アレルギー児に対応した給食

ること、誤食の危険を感じたこと(ヒヤリハット)を挙げ、普段の保育に大きな支障にならない程度の追加の確認作業で「できること」について意見を聞き、園長・主任会議で精査しました。組み直し作業を行い、当法人の「食物アレルギー対応要領」が完成。

保育環境に合わせ みんなの知恵集める

「食物アレルギー対応をするための準備」「配膳・食事中の配慮事項」「万が一誤食がおこったときの対応」の3つのフェーズに分かれた対応要領を、A4判1枚にまとめました。

今のところこのマニュアルは機能しているように見えますが、おそらく何年か後には、さらなるアレルギー対応児の増加やさまざまな環境変化の中で、使いにくいものになっているかも知れません。保育環境に合わせたもの、要点を絞ったもの、使い勝手の良いものをみんなの知恵を借りながら再び創り上げていきたいと考えています。

(日の出学園 I・K)

「介取り(白取り)」 講習会のお知らせ

「介取り(白取り)」の人材育成を図ります。ご興味のある方は是非ご参加ください。

日時: 11月30日(土) 14時~

場所: 榎塚台保育園 (堺市南区榎塚台3-5)
参加費: 2,000円(当日徴収させていただきます)
服装: 餅つきができる服

参加ご希望の方は、保育園名・氏名を記入(様式は問いません)し、FAX 072-297-9484へお申込ください。

六尺へちまに挑戦 されておられる園に

成果の品評会(写真判定による)を12月に予定しています。収穫は11月16日(土)を目途にして、園長先生とへちま(長さの判る形)を撮影してください。

府社協・施設福祉部(tanaka.tatsuhiko@osakafusyakyoo.or.jp)までメールをお願いします。

1位・2位・3位は『保育おおさか』誌面で表彰予定。



スマイルサポーター フォローアップ研修会

【北摂ブロック】

日時: 11月22日(金) 14時30分~16時30分
会場: 摂津市コミュニティプラザ

日時: 12月9日(月) 14時~16時
会場: 茨木市福祉文化会館

【河内ブロック】

日時: 11月29日(金) 14時~16時
会場: サポートやお

【泉州ブロック】

日時: 12月7日(土) 14時~16時
会場: エブノ泉の森ホール

他ブロックからご参加を希望される方、研修内容を知りたい方は事務局までお問い合わせください。

(06-6762-9001)

堺

これからの保育園運営

—園長研修会

10月15日、堺市産業振興センターで開催された園長研修会に約80人が参加。山縣文治氏(関西大学教授)が

「これからの保育園運営—子ども子育て3法案をうけて」のテーマで講演。子ども子育て支援新制度を考えるポイントとして、急速に減る出生数、厳しくなる幼稚園経営、消えかかると「就学前教育」の現状など、現行認定こども園の設置状

況の数値を紹介して詳しく解説されました。新法案が解決する可能性の一つは、過疎対策。いずれの形態にせよ、認定こども園の設置によって、3歳以上児の遊びの仲間を確保できる。幼保連携型認定こども園の設置により、教育基本法に基づく学校教育を提

供できる。保育所型認定こども園以外の認定こども園についても園外での保育を確保できる。在宅子育て層対策については、児童手当、施



山縣文治氏

設型給付が大きな位置を占める中で、社会・既存供給者・議会・役所がどこまで理解するかが鍵だと言及。認定こども園の普及促進は、幼稚園・保育園・子育て世代の生活環境の変化や働き方の多様化に対応するためにも必要であり、地域の子育て支援施策の一層の推進が不可欠であると講演を締めくくられました。

(編集委員S・T)

南大阪

保育力を向上させる

親学講座

10月18日、保育士として

り」について学びました。子どもの育ちには、母性・父性両面の関わりが、年齢に依りて必要となる。生まれたばかりの赤ちゃんは視力が良くないため、肌と肌のふれあい、愛着でもって自分の親を認識する。生後6カ月間に親の愛情が十分に注がれると、いわゆる「刷り込み」が完了する。刷り込みが無事完了すれば、自分の親以外への防衛反応として「人見知り」が始まる。順調な育ちの指標が「人見知り」にある。子どもが親と目を合わせられるかが親との刷り込みが完了しているかの判断基準。

3歳以降は自尊心が芽生え始め、知恵も付き、自分の世界を築き始める。「肌を離して、手を離さず」の距離を保ちながら、物事のきまりや、社会の厳しさを伝えて行くなど、父性的関わりが求められる。「父性・母性」は、父親・母親ということではなく、事情により母親(あるいは父親)がその両性的関わりを使い分ける必要もあるなど、驚きも感じつつ学びました。



杉本哲也氏

10月18日、保育士として子どもや保護者とのかわりを親学から学ぶ連続4回講座の第1回目、リックはびきのにて開催されました。講師の杉本哲也氏(親学推進協会)から「親学の基本と父性的・母性的関わ

(高屋保育園N・M)

旬

大山鳴動鼠一匹—9月に開示された各法人の財務諸表。今のところ大変静かです。お国の方で来年は、チグハグ無きようにしていただけるようです。誰が見るのか???

進む監査。不適切発言には束になって!

自然薯、つくね芋、大和芋...山芋にもランクあり

たい仲間です(笑)。「あの法人は、しこたま持ってるな」あそこは建て替えて底突いてるな」世の中そんなモンです! 各市の監査が順調に進んでいるようですが、やはりとんでもない話が飛び交っている。突き詰めると8時間・11時間問題

に発展しかねない項目にクチ入れる市(担当者)もあり、先が思いやられる。数は力—毛利元就が四百年も前に教えてくれている。束にならんとアカン。各市園長会—丸で、より良い保育のためには、不適切な発言に抗議すべき時もある。部会でも担当者を決めての対処は準備。

さして、秋も深まり食欲が増す。とろろ汁は子どもも頃、つくね芋を母がすり鉢で、スリコギです

番がつくね芋(丹波産が有名)、三番に大和芋(団扇状の形)、並が年中出回っている長芋。日本の農業技術は素晴らしく、長芋でも「ねばりっこ鳥取原産」などは、これ長芋か? なかなかええモノ

(H・N)